

過ぎざるのみならず、會社に取りても不利益を及ぼすものであつて、爭議の眞の解決は善良なる
工員諸子が工場に復歸することによりてのみ期待し得らるべきを條理を盡して説明すると共に
その十分なる反省を求めたのであります。然るに爭議團一部の者は之に對して種々妨害の限り
をつくし時に暴力を以て訪問の社員を脅かす者さへありました。

然し乍ら町及附近各村有志各位の勞働提供の御申出一層多きを加へます。一方會社の誠意が漸
次一般罷業團員に徹底して、復業者が日を迫ふて加速度的に増加して參りましたので、會社に
於ては去る十九日第十五工場を開き、今廿九日更に第十工場の操業を開始する運びと相成りま
した。工員諸子が一時の迷夢から醒めて勇氣を揮つて敢然入場し來る事は本社の欣快の上な
き次第でありまして、これによつて漸次作業を開始し大方需要の幾分かを充し得るは幸慶此事
に存じます之れ偏に大方諸賢が深甚なる御同情を寄せられ、直接間接熱烈なる御後援を與へら
れた結果でありまして深く御禮申上ります。

右第十五、第十、兩工場作業開始を御報告すると共に熱誠なる御聲援に對し深厚なる謝意を表
する次第で御座います。

昭和二年十月二十九日

野田醬油株式會社

九月卅日附を以て、本社は従業員百四十六名を解雇致しました。永年働いて居つた人々を解職することは、ま
ことに不本意千萬であります。彼の人々は、工場に於ける作業その他の勤め振りが甚しく不満足なるのみな
らず、勞働組合の所謂『幹部』として一般従業員を慫慂し、會社の福利施設その他種々の計畫に對して事毎に
反對の態度に出で、時に多衆を煽動して不當の要求を提出し、衆を恃んで敢て目的を徹さんとする等、工場管
理に一大支障を來さしめ、一般社會思想にも非常なる悪影響を及ぼしますので、涙を揮つて馬稷を斬るの舉に
出でたのであります。

今回の爭議の如きも、從來幾度か御清鑑を辱ふしたる通り、あられもなき浮説に驚き、強ひて言ひ懸りを設け
て會社に迫り、名を問題に籍つて時を得たりと四月提出の保留要求を復活し、多數工員諸子は、衷心罷業を
欲せざりしにも拘はらず、強制的に罷業せしめたと信ずべき節があるのであります。復活並に添加要求案が一
般勞働組合員と考究熟議する處なくして突如之を提出し、その時期も理由も何等の根據なきは先般披陳した通
りで、消息通の語る所を綜合するに、要求提出は要求そのものが目的には非ずして、之を提出して一の運動を
起し、よりにて、近來動もすれば弛まんとする結果を再び固うするといふ事が主目的であつたと推斷せらる
るのであります。突發以來既に三旬に垂んとする今日に於ては、一般従業員の悔はかなり強きものあるべし
と稱せられて居ります。

然る所、最近爭議團は聲明書を發して『我々は罷業の一日も早く解決することを欲する』旨宣言して居ります。
會社に於ても事件が一日も早く解決して平和状態に復し、國家産業の發展にいそしみたきは、從來縷々申述べ
たる如く、敢て人後に落るものではありません。事は、全く勞働組合の策動によつて勃發したのであります。
會社としては、事情已むことを得ず、余儀なく應戰するに至りましたのです。爭議團の此の企謀は、會社は勿
論、四隣町村に一大衝動を與へたるのみか、不本意乍ら渦中に捲き込まれたる一般工員の心痛と苦惱とを顧み
ずして、無謀にも輕舉を敢てしたのであります。その當初に於ては、會社の態度の渝らざる限り、何ヶ月に
ても戦ふべしと揚言したるにも拘はらず、今日卒然としてこの種の宣傳をなすは、その心事寔に推測するに難
くないのであります。『一日も早く平和』を欲すといふ！言やまことに善し。さり乍ら、之果して素直に受